

平成 27 年度 施策評価シート

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	4. 「二宮PR」大作戦の展開
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想、基本計画に基づき、まちづくり施策の総合的・一体的な取組や、町民や町民団体、民間事業者の協力・連携によって、「生活の質」や町の風景・文化そのものを「二宮ブランド」として定着させ、これを町外にPRすることにより、観光客を集めるとともに、定住人口の増加に取り組みます。 ・そのため、創意工夫を凝らした情報発信等の町の広報活動を強化します。

基本計画(分野別方針) 事業名		実施計画 事業数	総合評価
(1)) 広報・広聴の充実		1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・回数、量的な面も含めた広報配付物の在り方 		
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある		B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル等、情報発信力の強化に取り組んでいる。 	
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進のみならず、行政の責務として、外国語対応などを行い、広報紙とお知らせ版の集約検討を実施し、情報の発信力をさらに高めていく。 	

◎最終評価者[庁内評価委員会]			
A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある		B	
意見等	広報事業については、町内外へ積極的に情報を発信するため、SNS等を活用した広報戦略が必要となる。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	4.「二宮PR」大作戦の展開
分野別方針	(3)広報・広聴の充実
実施計画事業	1) 広報広聴事業(No.91)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	広報広聴事業	88.1%	B
02	町政資料閲覧コーナーの運営	—	A
03	情報公開関係経費	87.5%	A
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページCMS対応によるアクセシビリティ及び機動性の確保 ・情報発信方法全般の更なる改善
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	行政情報をわかりやすく町民に提供するとともに、まちづくりにおける町民の期待や要望が町政に的確に届くよう、広報・広聴機能の充実を図る必要がある。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	広報紙やホームページを活用したタイムリーな情報発信に努めるとともに、これら広報媒体を積極的に活用し町のPRに繋げる。また、情報開示を推進するとともに町への問い合わせに対しては、迅速・丁寧にわかりやすい説明を心がける。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	町民意見・要望への回答方法については、検討が必要。		

平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	4. 「二宮PR」大作戦の展開				
分野別方針	(1) 広報・広聴の充実		実施計画事業	1) 広報広聴事業 (No.91)				
予算等事業名	広報広聴事業							
目的	「広報にのみや・お知らせ版」を発行し、町行政の動向をはじめ行事等の情報提供及び情報公開や閲覧に迅速に対応することに努める。							
内容	町民向けの広報媒体である「広報にのみや・お知らせ版」の発行や広報板の維持等、町行政の動向をはじめ行事等の情報提供に努める。							
根拠法令・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		広報紙の発行回数やページ数について検討することが経費削減の効果にも繋がる場合が考えられる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		広報紙の発行回数やページ数について検討することが事業効率化の効果にも繋がる場合が考えられる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 引き続き、広報紙やホームページを活用した適切な情報発信に努め、町のPRに繋げる。				

総合評価

実績	毎月9日に「広報にのみや」、25日に「広報にのみやお知らせ版」を、それぞれ11,700部発行し、併せてホームページでの情報発信を行った。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	町の情報を、全ての住民へ分かりやすく発信することが目的であるため、数値で表すことができない。	
	—	—			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,108	5,175	5,961	5,251		
財源内訳	一般財源	4,996	4,115	4,849	4,142		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	1,112	1,060	1,112	1,109		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町行政の動向をはじめ行事等の情報提供を積極的に行う。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町行政の動向をはじめ行事等の情報提供を積極的に行う。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 情報提供の手法については、常に成果の向上を心掛け検討しなければならない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 広報紙の印刷は一般競争入札により業者を決定しており、一定の費用抑制が認められる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 情報提供の手法については、常に成果の向上を心掛け検討しなければならない。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページCMS対応によるアクセシビリティ及び機動性の確保 ・情報発信方法全般の更なる改善 	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	行政情報をわかりやすく町民に提供するとともに、まちづくりにおける町民の期待や要望が町政に的確に届くよう、広報・広聴機能の充実を図る必要がある。		
今後の方向性	広報紙やホームページを活用したタイムリーな情報発信に努めるとともに、これら広報媒体を積極的に活用し町のPRに繋げる。また、町への問い合わせに対しては、迅速・丁寧にわかりやすい説明を心がける。		

平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	4. 「二宮PR」大作戦の展開				
分野別方針	(1) 広報・広聴の充実		実施計画事業	1) 広報広聴事業 (No.91)				
予算等事業名	町政資料閲覧コーナーの運営							
目的	「広報にのみや・お知らせ版」を発行し、町行政の動向をはじめ行事等の情報提供及び情報公開や閲覧に迅速に対応することに努める。							
内容	—							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		経費についてはかかっていないため			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		経費についてはかかっていないため			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 今後も町行政の情報提供・情報公開について引き続き実施していく				

総合評価

実績	町政資料閲覧コーナーを通して、町民に対して町の情報を伝える。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—				
単位:	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	—	町政資料の閲覧については、自由に出来ているため、数値等では表せない。		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	—
	【説明】 公費の投入は行なっていない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の情報を伝えるために町が行なう必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 町の情報について、伝えることができている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 各課で発行している町政資料を配架しているため、経費については発生していない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 町民に対して、町政の情報を発信するにあたり今後も必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	引き続き町政資料の提供を行い、町の行政情報の提供に努める。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町政情報の発信手段として、町政資料の提供は必要である。		
今後の方向性	町政資料閲覧コーナーの運用により、引き続き町の行政情報の提供を行っていく。		

平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	4. 「二宮PR」大作戦の展開				
分野別方針	(1) 広報・広聴の充実		実施計画事業	1) 広報広聴事業 (No.91)				
予算等事業名	情報公開関係経費							
目的	「広報にのみや・お知らせ版」を発行し、町行政の動向をはじめ行事等の情報提供及び情報公開や閲覧に迅速に対応することに努める。							
内容	情報公開に必要な文書管理・保存を総合的に推進するとともに、行政資料の集約により効率的な運営を図る。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		最低限の経費で実施しているため						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		最低限の経費で実施しているため						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 今後も町行政の情報提供・情報公開について引き続き実施していく							

総合評価

実績	条例等に基づき、請求に対して情報公開を実施、また保有する文書等の整理及び処理を行なっている。							
中間評価との相違点	—							
事業指標(数値指標)	—							
前期(27年度)目標値	—							【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	情報公開については、公開請求があつて決定等を行う為数日等では特に表すことが出来ない。				
	—	—						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		857	685	871	762		
財源内訳	一般財源	857	685	871	762		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の情報の公開であり、町が行なう必要があるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の情報の公開であり、町が行なう必要があるため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 簿冊については、リサイクルを徹底して行い、文書の整理をしている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 情報公開については、町の行政文書を公開するため経費は発生していない。また、文書の整理等については、簿冊表紙等のリサイクルを行い、経費の削減に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 町の情報の公開であり、町が行う必要があるため。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	条例に基づき、引き続き適正な情報公開制度の運用に努める。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町行政の透明性の確保のため、条例に基づく情報公開制度の適正な運用は必要である。		
今後の方向性	条例に基づき、引き続き情報公開制度の適正な運用を行っていく。		